

今回は、ゾウさんの「あれ」を使って、スリランカの人とゾウの共存を支援する、(株)ミチコーポレーション植田紘栄志さんの活動を取材しました。

僕らの冒険が世界を変える!

～「ぞうさんペーパー」から始まるスリランカとのパートナーシップ～

レポーター ひろ記者 津森正裕、高村秀樹

国道186号線沿い(北広島町荒神原)にある、自然素材と伝統的な製法のアジア風の雑貨や地元産の溢れる料理を楽しむ「芸北ぞうさんカフェ」。経営者の(株)ミチコーポレーション植田紘栄志さんに聞いた。



スリランカ「野良ゾウ」ぞうさんペーパー

スリランカには「野良ゾウ」が存在していることをご存じでしょうか。

ゾウの襲撃により毎年約120名が命を落とし、その倍の数のゾウが殺されている。現地でペットボトルのリサイクル工場を営んでいた植田さんは、野良ゾウと人間が共生する道を考えて。現地にゾウの糞で作る紙があることを知り、職人の手漉き技術にリサイクルのノウハウも取り入れ、古紙とゾウの糞を7対3で配分し、和紙にも匹敵する強度と滑らかさのあるリサイクルペーパーを製造。その工場を立ち上げた。商品名は「ぞうさんペーパー」。日本にも輸出し、スリランカではゾウを大切に作る空気が生まれている。



北広島町への移住

東京を拠点に活動していた時、東日本大震災の惨状を海外で知った

植田さんは、改めて「家族の安全」こそが最優先と考え、安全な地域への移住を決意。中部地方なども検討したが、最終的に北広島町を選択した。近くに断層がないこと、津波のリスクがないこと、何よりも「安心して深呼吸ができるきれいな空気と美味しい湧き水」が決め手となった。

留学生支援

留学生との交流、支援にも積極的に取り組んでいる。高校生の娘さんが昨年スリランカに留学。コロナ禍での留学で、現地の皆さんにお世話になった。一方、日本では、アルバイトができない、家賃に苦勞、帰国もできない等々でスリランカからの多くの留学生が困っている。外国人留学生支援プロジェクトを行い、集まった支援金はスリランカ大使館に届けている。

記者はぞうさんカフェを何度か訪れていますが、地元野菜がゴロゴロのカレーと、地元のリンゴをトッピングしたピザはまさに絶品。広島市内から車で約90分、アジアンテートの空気と深い呼吸とを体験に、北広島町にお出かけされてはいかがですか。



「ひろ記者」とは、市民自らが地域のまちづくり活動やイベントなどを取材し発信していく、広島の市民レポーターです。

▶ <https://www.city.hiroshima.lg.jp/soshiki/14/7197.html>



らしくコラム Rashikoku column

広島経済大学興動館 「広島ハワイ文化交流プロジェクト」

このプロジェクト活動は、2013年に1人の学生の「ハワイで広島のお好み焼きを広めよう」という発言から始まった。そこから発展して「かつて広島は『日本一の移民県』であり、ハワイの日系人には広島にルーツをもつ人が多い事実を、ハワイと広島の若者にも知ってもらいたい」という活動目標が生まれ、今に至っている。どちらの若者も、広島とハワイの間にそのような歴史的な繋がりとあるという事実をほとんど知らない。そこで、プロジェクトの学生はハワイを訪れて、ハワイへの移民の歴史に加えて、広島の歴史や文化をもっと知ってもらい、さらには広島を訪れて欲しいという気持ちをハワイの若者たちに伝える活動を行っている。

昨年の2月、新型コロナ流行のために渡航の1週間前に急きょ中止となるまで、毎年の春休みと夏休みにそれぞれ約2週間、ハワイ島のKonaやHiloやマウイ島のKahuluiを訪れ、現地の中・高校生、大学生、そして広島県人会の人びとと交流してきた。学校では、日本語を学ぶクラスに参加して広島からハワイへの移民が多い理由を説明したり、厳島神社をはじめとする観光名所や、「とうかさ」や「えびす講」などの祭り、そしてかきや穴子飯などの郷土料理を紹介している。

ハワイの人たちに好評だったのは、お好み焼きとその作り方で、実際に目の前で焼きを焼いたところ、鉄板の周りに輪ができ、競うように食べてくれた。材料は現地のスーパーで調達するが、薄切りの豚バラ肉以外はお好みソースや天かす、青のりでもなんでもそう。豚バラ肉はベーコンで代用した。また、「広島スタディ・ツアー」を提案し、日本

に旅行する中・高校生グループが広島に来ることを促し、実際に来た場合には平和公園での平和学習や宮島での文化体験などで案内役を担ったり、広島の中・高校生との交流を仲介している。

この活動の特徴は、学生たちの主体性である。自分たちで訪問計画を立て、現地の人たちと連絡を取って訪問日程・内容を調整し、旅行代理店に飛行機とホテルの予約を依頼する。現地では、けっして得意とは言えない英語でも頑張って、ホテルでのチェックインやレストランでの注文などを行っている。引率者の教員の主な仕事は、現地でのレンタカーの運転と急病等の対応および危機管理である。彼らは、海外渡航のノウハウを習得するだけでなく、学校生活や食生活での文化・習慣や考え方の共通点・相違点を学んで帰る。またハワイの大自然の素晴らしさも体験する。1年生から3年生の終わりまでに4、5回渡航する学生はずいぶん選ばれる。だから、学生たちも私も、早くコロナが収束して、再び、渡航できるのを心待ちにしているのである。



Profile
広島経済大学 教授
田中 泉

1957年広島市生まれ。広島大学大学院修了。広島大学附属高校教諭を経て、1995年より広島経済大学勤務。専門はアメリカ史および社会科・歴史教育学で、現在の研究テーマは民族問題・日本人移民史の教材化。近著は、『ひろしま地歴ウォーク』(レタープレス社)

ようこそ! 公民館へ

～中区内公民館～

地域のみなさんの学習活動を応援する最も身近な施設「公民館」でまちづくりに関する活動をしているグループをご紹介します。

1 健康体操&ストレッチ

中央公民館

女性の健康づくり・仲間づくりのため、週に1回1時間。会員や講師の入れ替わりはありますが、グループ発足から40年以上という歴史あるグループです。

ゆったりとリラックスできるBGMを流しながら、講師の合図に合わせて、座ったり、寝転んだり、立ち上がったたりして、体を動かしていきます。無理せず自分の体の可動域や筋力に合わせて、少ししんどくて、汗がじんわり出る位に動きます。激しくないけれど、効果を感じながら動き続けるといい運動になりますよ。

最後は、リズムカルな音楽に合わせてダンス風の体操をして終了です。はあ～、ふう～。皆がスッキリした表情で足取り軽やかに解散。

毎週木曜日の10:30～11:30の1時間、中央公民館4階のホールで楽しく体を動かしています。コロナ禍で運動不足の方、一緒に無理なく体を動かしてみませんか?お待ちしております。



2 歌って弾いてHOTなクラブ

中央公民館

中央公民館で活動している歌とギターの音楽グループです。メンバーはシニアが中心で、フォークソングをはじめ幅広いジャンルで懐かしい思い出の曲を演奏しています。昨年11月末には、公民館でリモート公民館ライブ発表会に出演しました。コロナ禍でなかなか練習も発表もできなかったので

すが、YouTubeで配信されていますので、ご覧ください。(リモート公民館ひろしまで検索)

毎月、第1・3の月曜日の夕方に楽しく、和気あいあいと練習していますので、気軽に見学いらしてください。一緒に音楽を楽しみましょう!



3 いきいき会

竹屋公民館

ことし10周年を迎える「いきいき会」。地域との親睦を図り連携し、いきいきと活動を行うことにより個人の向上と地域の活性化を目指すために、80名以上の会員で毎月1回活動を行っている。メンバーは竹屋公民館エリアだけでなく広島市内全域に散らばっており、公民館のその他のグループ活動や市民参画行事に自発的に参加しているメンバーも多数いる。

春と夏には恒例となっている「青春18きっぷ」を活用した旅行や企業の体験ツアー、さらに山登りなど活動は多岐にわたっており、竹屋公民館の公民館まつりでは、毎月の活動の様子を写真と資料で紹介している。

コロナ禍の中でも会の役員同士連絡を取り合い、2021年(令和3年)の行事予定表も早々と完成させた。ちなみに7月14日(水)には10周年の記念講演会を竹屋公民館で開催する予定になっている。会員一同、コロナ終息後の活動再開を心待ちにしている。



4 素人の哲学 しゃべり場

吉島公民館

デートリッヒのハイヒール。ヘミングウェイのダイキリ。モノローのシャネルの五番。ご案内します。所変われば品変わる。人も変われば話題も変わる。会は踊るのです。脱線もすれば起き上がる。

読書、映画、歴史を通してのオープンディスカッションです。それには絶えず、今、現在の世の中の出来事を意識することが大切

です。発足15年、毎月第1・2・3の金曜日、会費は原則無料、但し公民館使用料は有志の負担とする。毎回、3時間たっぷりのおしゃべり会です。何せシロートの集まりの気安さ、わいわいやりましょう。老若男女、垣根なし。

〈走れ、タカハシ...〉ヨシヒコが走れば、何かが始まる。～村上龍の作品。

しゃべっては耳を傾け、聞いては考えてみる。そこに本質、哲学が生まれる筈だと思います。



5 バレーボールサークルどんぐり同好会

舟入公民館

どんぐり同好会は、2003年『明るく!楽しく!元気よく!』をモットーに『地域の方々と交流』や『社会貢献活動』『青少年健全育成』の三本の柱を理念とし、設立されたバレーボールサークルです。

主な活動日は、毎週日曜日ですが、平日も不定期で練習を行っています。メンバーは、中学生、高校生、大学生、社会人、主婦の方まで、10代から60代まで様々な世代で構成されています。現在のところ120名が在籍で、定例の活動には約35名が参加しています。

どんぐり同好会の活動は、バレーボールだけにとどまらず、毎年、活動拠点の舟入公民館にて行われる地域最大のイベント「舟入公民館まつり」や「国際交流グルメフェスティバル」等にも、地域を盛り上げるべくボランティアスタッフとして参加しています。

今後ともどんぐり同好会は、バレーボールを通してつながる『笑顔のWA』を大切に歩んでいきたいと思っています。ただいま、2021年新規メンバーを大募集中です。年齢問わず、初心者の方も経験者の方も一緒にバレーボールで青春の汗を流しましょう!

バレーボールコートでお会いできますことを楽しみにしています。



グループへのお問合せについては、各公民館へお願いします。

- 1 2 中央公民館 ☎082-221-5943
- 3 竹屋公民館 ☎082-241-8003
- 4 吉島公民館 ☎082-246-4121
- 5 舟入公民館 ☎082-295-5003

名人宝人 達人

Interview 1

さまざまな分野の達人たちが登録しているまちづくりボランティア人材バンク。地域活動やまちづくりのお手伝いに、今日も、あなたのまちを達人たちがおうかがいしています。

公益財団法人日本スポーツ協会
公認スポーツリーダー・ジュニアスポーツ指導員 **まつやま たみ 松山 多美さん**

「楽しかった」を「やりたい」に繋げる 健康に向き合うきっかけ作りのお手伝い

幼児から高齢者まで誰もが簡単に、そして自宅で継続できる健康体操やストレッチの指導している松山多美さん。

松山さんは3歳からバレエを始め、踊ることが大好きで多くのステージでその実力を披露してきました。進学した日本女子体育短期大学では舞踊科舞踊を専攻。卒業後はスポーツクラブへの就職を経て、千葉県市の役所高齢者健康体操講師、子育て支援センターでの親子体操、幼稚園でのストレッチ教室、個人へのダンス基礎レッスン指導などを行ってきました。転勤のため令和元年、広島に。「自分のスキルが少しでも役に立てたら」と、人材バンクへの登録を決めました。

令和2年は人材バンクの活動として、デイサービスでの指導、人材バンク発表会に参加。参加者それぞれの状態に合った指導を心がけ、健康と向き合う大切さを伝えました。

「人材バンク発表会では高齢者の方々が私の話に興味に耳を傾け、一生懸命運動してくださったのが印象的でした」と話す松山さん。帰り際に参加者から「久しぶりに気持ちよかったですよ」と笑顔で声をかけられ、あらためて体を動かす重要性を実感し、さらにやる気になるなど気持ちを突き動かされたといいます。毎月行う習い事とは異なり、発表会などは一期一会。その



▲人材バンク発表会での健康体操・ストレッチの様子(令和2年11月)

一時にどれだけ心を開いてもらい、前向きに取り組んでもらえるかが鍵となり、その後、運動するかどうかの印象にも繋がると思います。そのため参加者の顔ぶれを見て内容を変えることも珍しくなく、タオルを使ったストレッチや指体操、時には脳トレなども行っています。「レベルの高いことを無理して行わない。できない、ではなく、できることを体験してもらい達成感を感じてほしいです」と松山さん。

その他にも、子どもを対象としたチアダンスの基礎の指導も行っていますが現在は休校中。空いてしまった時間ですが、これからやりたいことがどんどん湧いてきています。「コロナ禍で人に会うのが難しくなり、あらためて対面の大切さを痛感しています。今は思うように動かせませんが立ち止まっているわけにはいきません。直接指導ができなくても運動を日常生活に取り入れてもらえるよう模索中です。家にも、一人でも体は動かせることを知ってほしい」と松山さん。新しい生活様式が求められるなか、ますます高まるであろう健康志向。これからの松山さんの挑戦と活動に期待します。



▲松山多美さん



▲バレエの舞台上で踊る様子



▲幼稚園の保護者向けの講習会の様子(千葉県在住時)

まちづくりボランティア人材バンク発表会

ボランティア登録者が自らの達人ぶりを披露します。気軽にご参加ください。

- 日時/4月24日(土)、6月26日(土)(5月の発表会はお休みです) 午後2時~3時半 ※時間は変更になる場合がございます。
- 場所/北棟6階マルチメディアスタジオ
- 定員/20人(先着順)
- 申込開始/4月の発表会は3月29日(月)午前10時から 6月の発表会は5月24日(月)午前10時から

※当バンクは、政治、宗教、営利目的の活動での利用はできません。
※達人紹介は、団体・グループからの単発な活動に限ります。個人活動や長期継続活動への紹介はできません。
※達人は、実費弁償ボランティアとして活動します。交通費、資料代、材料費等の実費は、申込団体にご負担いただきます。

まちづくりボランティア人材バンク達人を紹介してもらうには・・・

まちづくりボランティア人材バンクは「自分の知識や技術を活かしてボランティア活動をしたい」達人と「ボランティアで来てほしい、教えてほしい」団体・グループとをつなげるシステムです。

現在260名余りの達人が300件を超えるボランティア活動で登録しています。年間350件程度の達人紹介の申込みがあり、日程や活動内容等の条件が整った約300件が活動につながっています。地域活動や手作りイベントなど市民の皆さんが活動する中で、「お願い!達人」という時は、お気軽にご相談ください。

1. 人材バンク紹介申込書の作成

どういう団体・グループが、いつ、どこで、誰を対象に、何をやる行事なのか、希望する達人を所定の申込書へ記入します。決まっていない項目は空欄のままです。

Interview 2

つきじ やすたか
ケーキ作りの指導 **築地 靖隆さん**

親子の絆も深めるケーキ作り 喜びとやりがいは参加者の笑顔

かつてのパティシエ経験を活かし、地域の公民館でクリスマスケーキや、バレンタインケーキ、パウンドケーキ作りの講習会で指導している築地靖隆さん。

豊富な仕事経験やさまざまな資格取得者として公民館との付き合いも長かった築地さん、最初は公民館で開かれるパソコン講座の講師を務めていました。平成14年、公民館の職員から思いもしない相談を受けたそうです。

「当時、口田公民館の職員の方と会話する中で、私がケーキ店でパティシエとして働いていた事を話しました。その後、しばらくして公民館から地域の小学生を対象にしたクリスマスケーキ作り講座を開くので手伝って欲しい、と依頼があったんです」。築地さんは、ケーキ店勤務を辞めた後は、自宅で趣味としてケーキを作る程度だったそうですが、講座の参加者からは好評を得て、平成15年2月、今度は女性を対象にしたバレンタインケーキ講座の講師を務めたそうです。

人材バンクには平成17年に登録。登録後も、安佐北区口田



▲クリスマスケーキ作り講習会の様子(平成30年12月佐東公民館)

公民館、安佐南区佐東公民館、東区戸坂公民館、さらにはかつての仕事の縁で東広島市でも親子ケーキ作り講座の講師を務めるようになりました。

「子どもたちはもちろん、一緒に参加する保護者もパティシエならではのちょっとしたケーキ作りのコツをアドバイスすると凄く喜んでくれます。その喜ぶ姿を見るのが、私の一番のやりがいですね。また親子でケーキ作りをするとより絆が深まるように感じます。ケーキの完成度の高さはもちろんですが、私が教える時に心掛けているのは、参加者に作る時の喜びを感じてもらうことです。例えばクリームを絞る時ははじめは上手くいかず、見た目はプロが作ったものに及ばない。パウンドケーキを焼いても、上手く膨らまない。しかし、自分で作った達成感は何事にも代えがたいんです。そこを一番、感じて欲しいと思っています」と人材バンクでの活動を話してくれた築地さん。

孫のような年の子どもたちが喜び、夢中になってケーキ作りに取り組む姿に大きな喜びとやりがいを感じているそうです。今後も元気なうちは活動を続けていきたいと語ってくれました。



▲バレンタインケーキ作り講習会の様子(平成15年2月)



▲参加者と一緒に作ったバレンタインケーキ



▲築地靖隆さん



▲参加者と一緒に作ったクリスマスケーキ

大丈夫です。
※紹介申込書は、人材バンク登録内容リストや当プラザHP、ひろしま情報a-netから入手できます。
※申込書の作成が難しい場合はご相談ください。

2. 合人社ウエンディひと・まちプラザへ申込み

当プラザへ、FAX、Eメール、郵送、窓口へ持参のいずれかで申込書を提出します。初めて申し込まれた団体や詳しいことを確認したい時には、当プラザより連絡をさせていただくことがあります。

3. 当プラザから達人へ連絡・調整

紹介申込書の提出後、希望する達人へ当プラザから打診の連絡をし、紹介の可否を確認します。(連絡・調整には、1週間程度かかります。)

4. 申込団体へ達人の連絡先をお知らせ

達人紹介の内話が得られたら、達人の連絡先をお知らせします。達人との直接

のやり取りのスタートです。速やかに正式な依頼の連絡を取りましょう。

5. 活動・イベント等の準備と実施

実施に向けて、達人との十分な打合せを行いましょう。しっかり相談すれば、お互いに良いアイデアが生まれます。いよいよ、活動・イベントの実施です。

6. 活動報告アンケートのお願い

活動終了後、当プラザよりアンケートをお送りします。実施結果や感想、写真、配布資料等を報告してください。その後の紹介に大変役立ちますので、ご協力をお願いします。

ボランティア紹介・登録などのお申込・お問い合わせは・・・

合人社ウエンディひと・まちプラザ
☎(082)545-3911 ☎(082)545-3838